

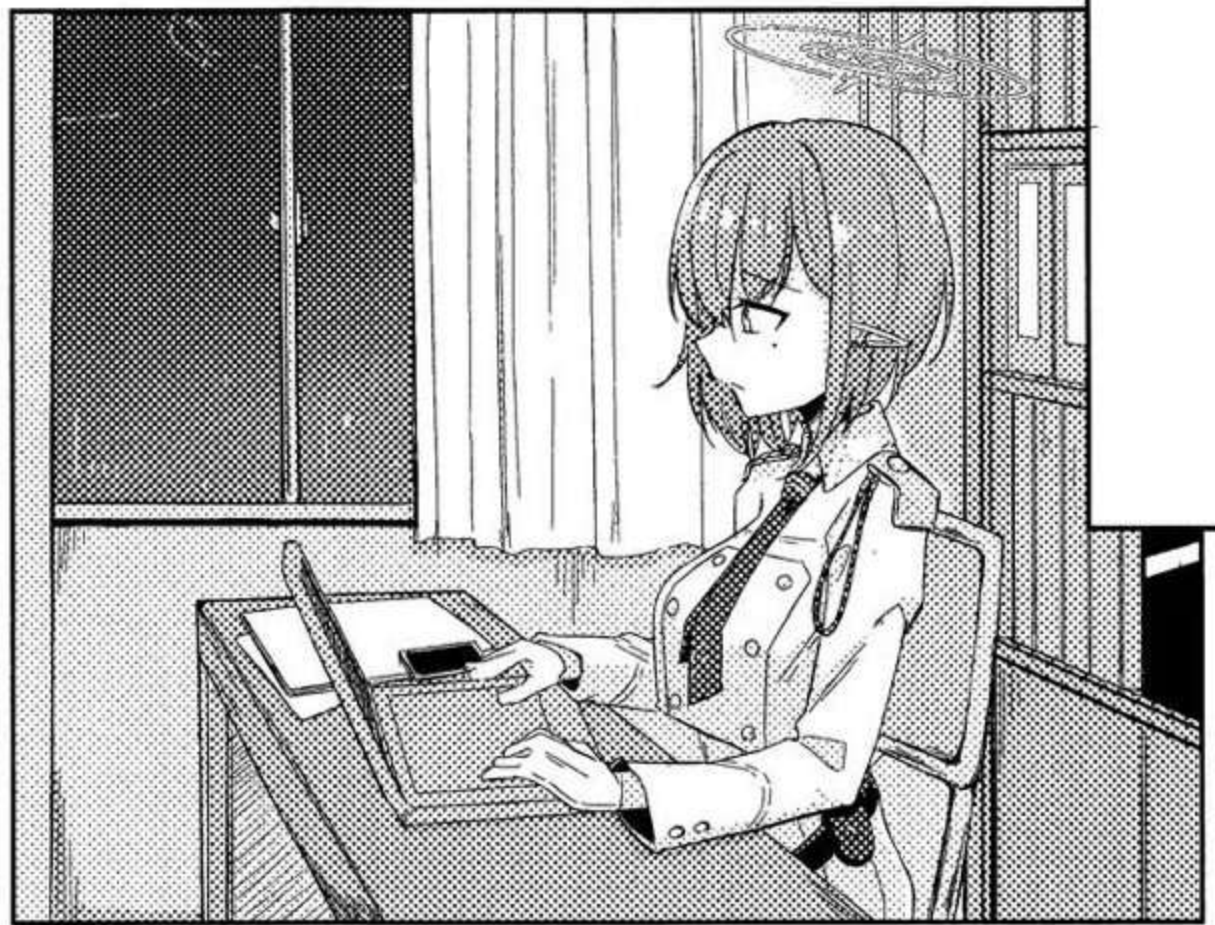
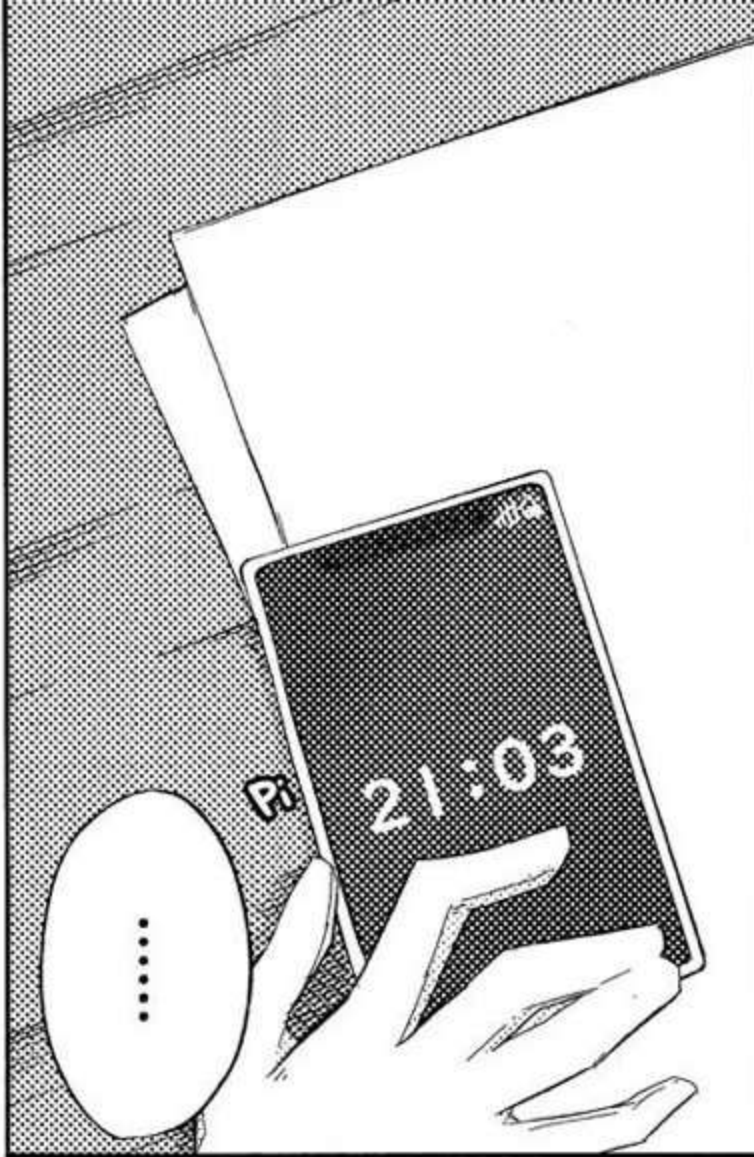
「R18」
— FOR —
ADULT
ONLY

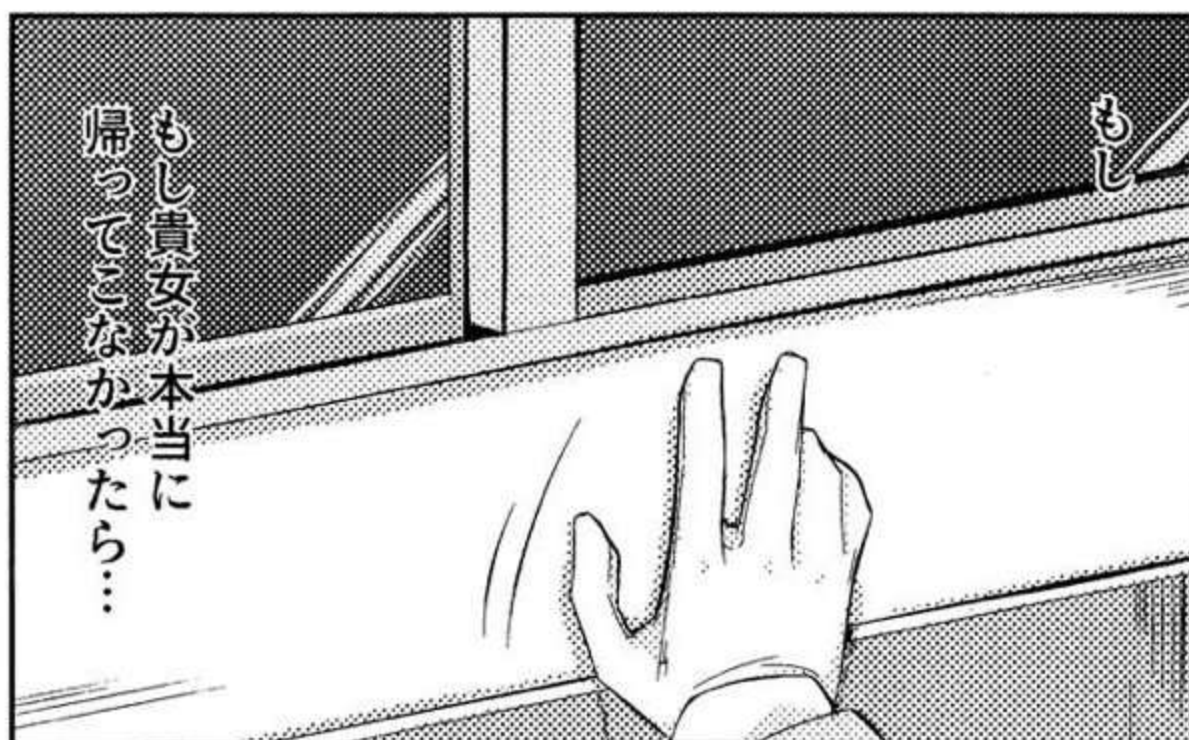
Blue Archive unofficial fan book.

Presented by ChibiChosu.

群青は
君と夜に
突如解る









なんとか地下通信センターは
生きているみたいだけれど…



サントウムタワーは
倒壊



リン先輩

他の室長とも
連絡はとれない…



お願い

繋がって頂戴

はい

リン行政官!?
今どこに居るの!?

怪我は…

室長
ご無—したか

…ごめんなさい
リン先輩

私 こんなことにな
るなんて
思わなくて…

今どこ—何を?
シャーレと

アオイ

万が一
私の身に何か
起きたら

…連邦生徒会を

キヴォトスを

よろしく
お願いします

ッ!
!?

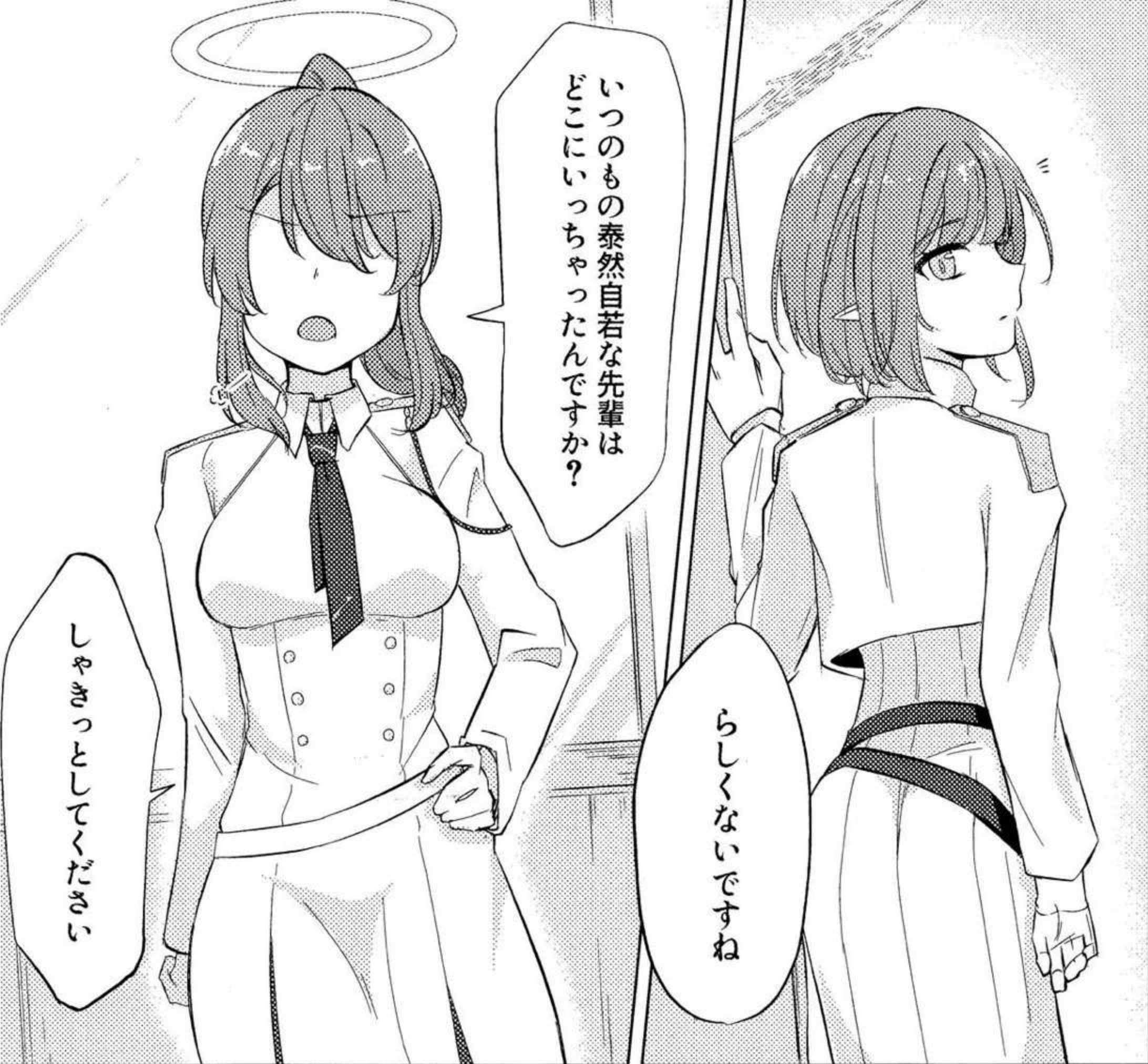
今なんてっ…

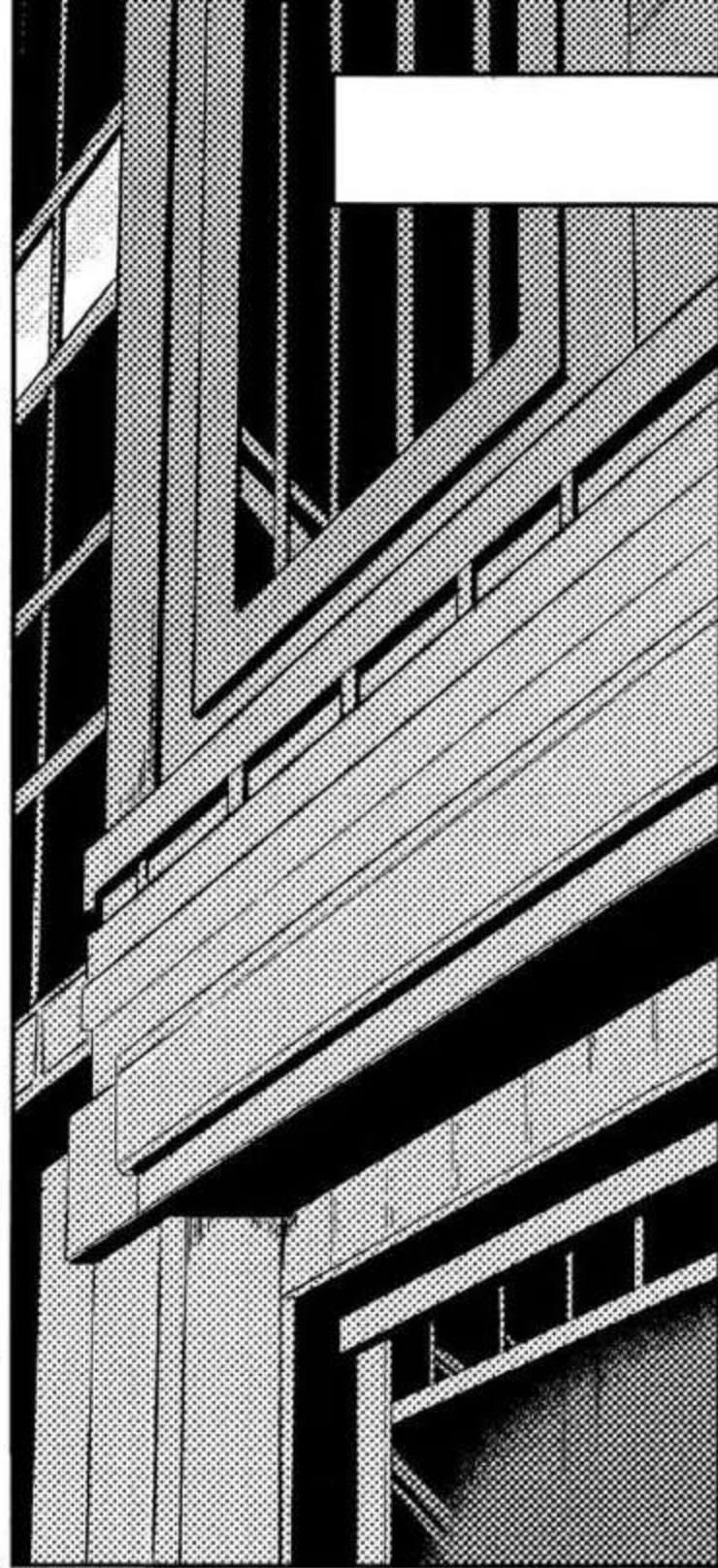
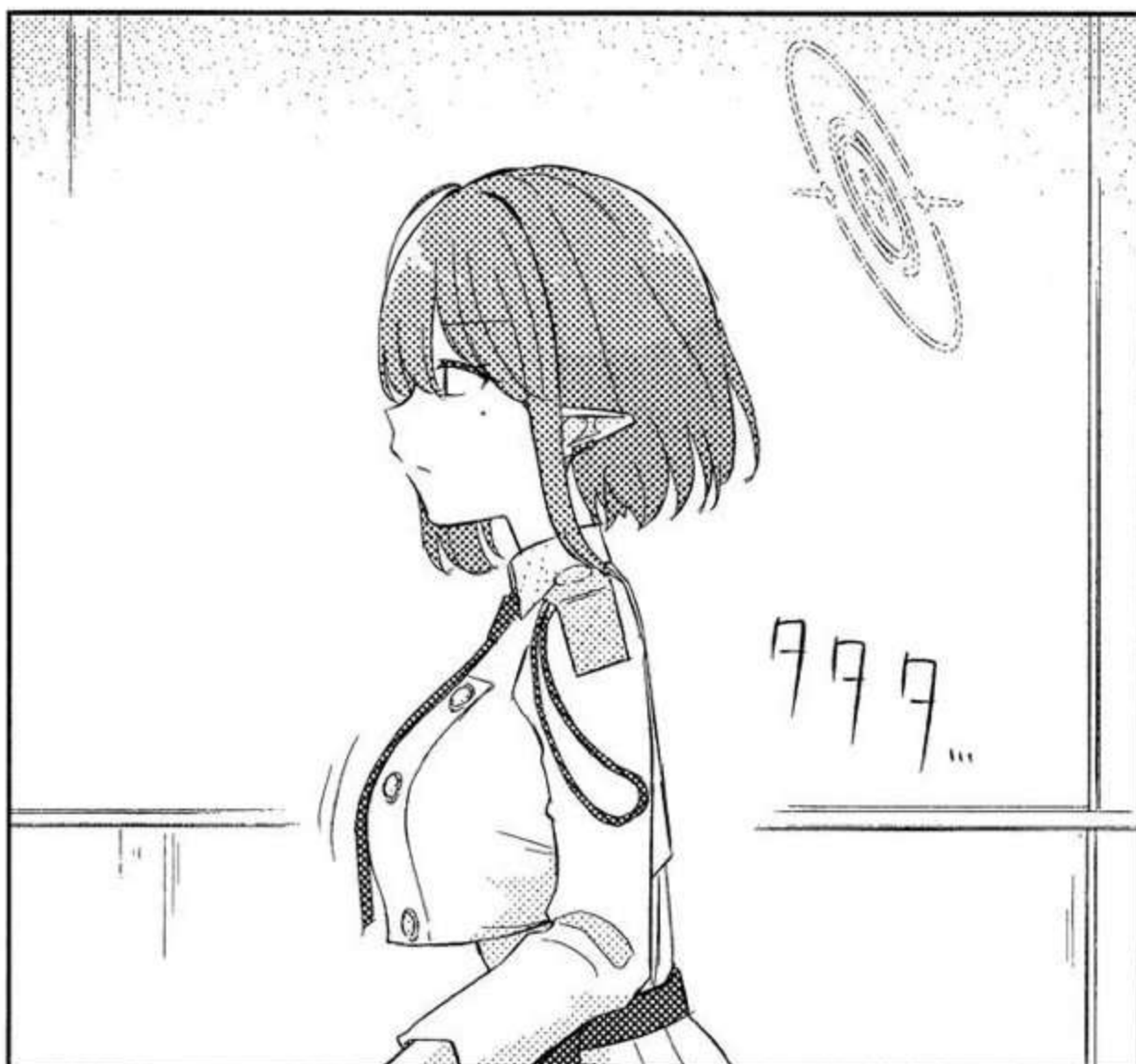
どうか身体に
気を付けて

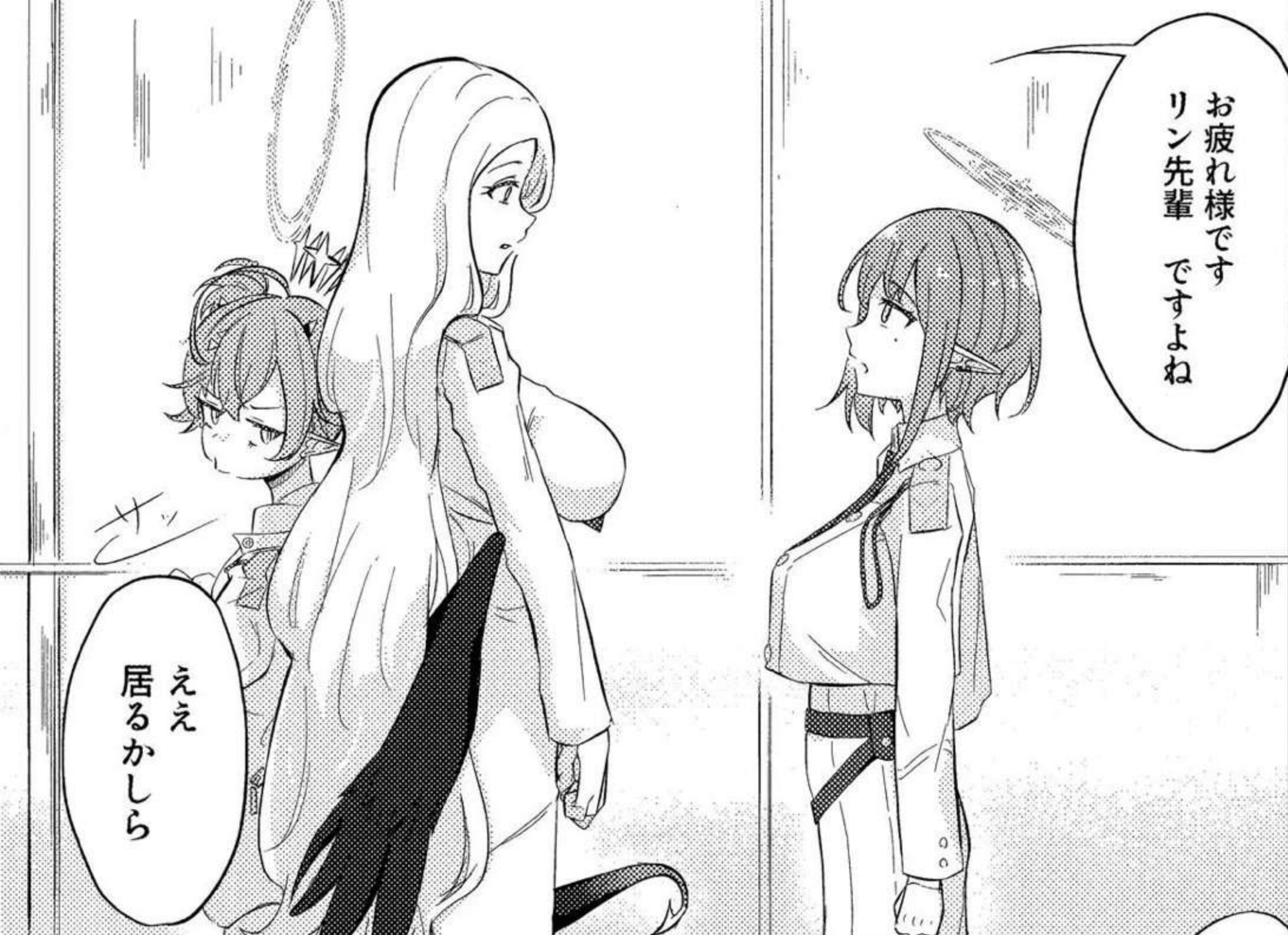
アオイ











お疲れ様です
リン先輩 ですよ

ええ
居るかしら



先輩でしたら
あちらのお部屋に



…貴女たちも
無事でよかったわ



まだ起きて
いらっしやるとは
思いますが…

そう

ありがとう





…財務室長

ご無事でなによ

り

貴女って人は

なんでそうなんでも一人で
背負おうとするのよ……!

…そういうことを
言いたいんじゃないの

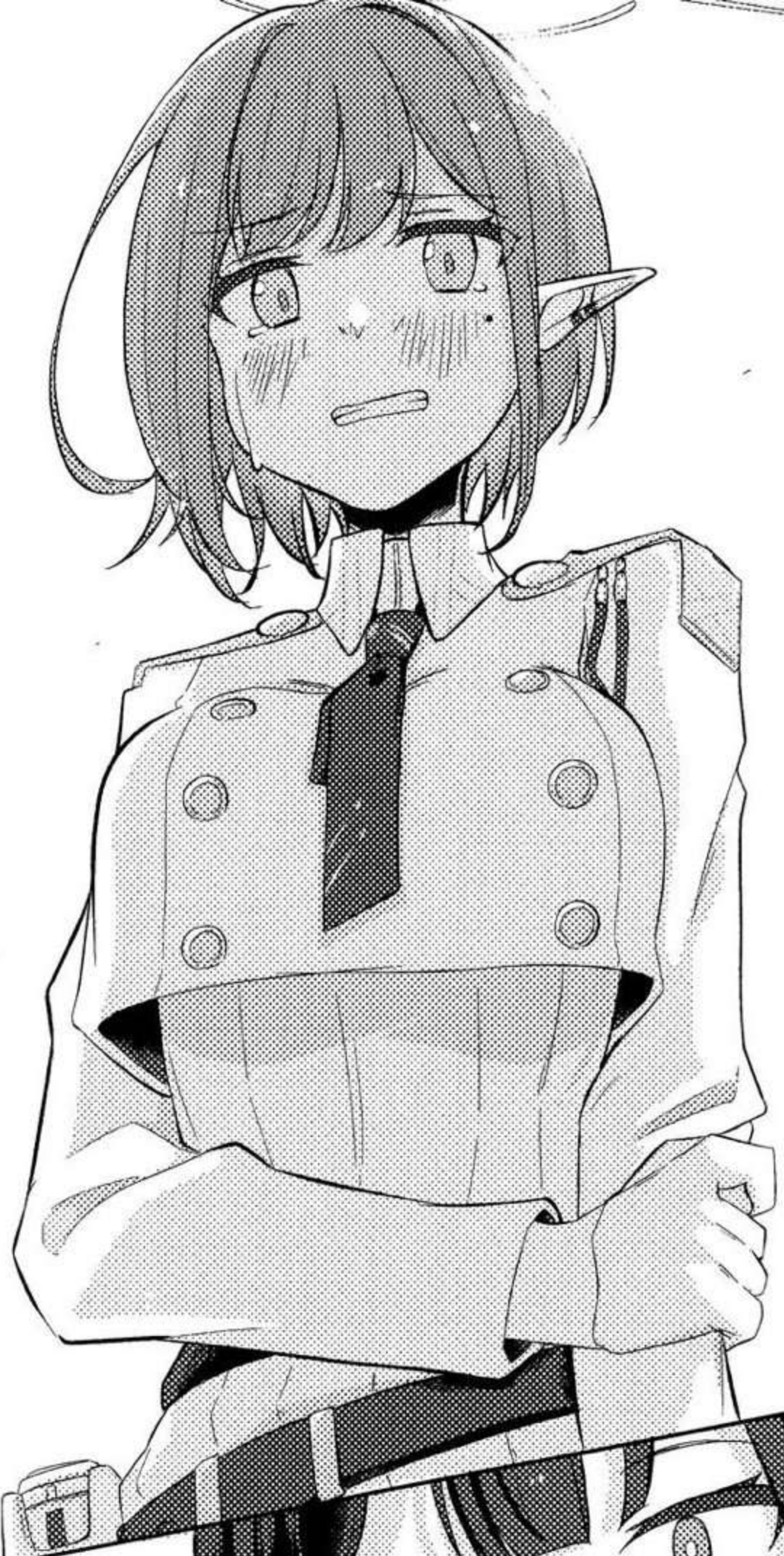
一人で判断して
一人で行動して

果てにあんなことを
言い残して一人で居なくなる
つもりだったのかしら?

一人ではありませんでしたよ

自治区の皆さんや
先生もいらっしやいましたし





私はただ
貴女に

無茶をしてほしく
なかったただけなのに…



結果的にリン先輩に
あんなことを背負わせて

一歩間違えば
取り返しのつかないことに—

…馬鹿みたいよね



…本当に
なんともないのよね

ええ
流石に少し疲労が
抜けきりませんが

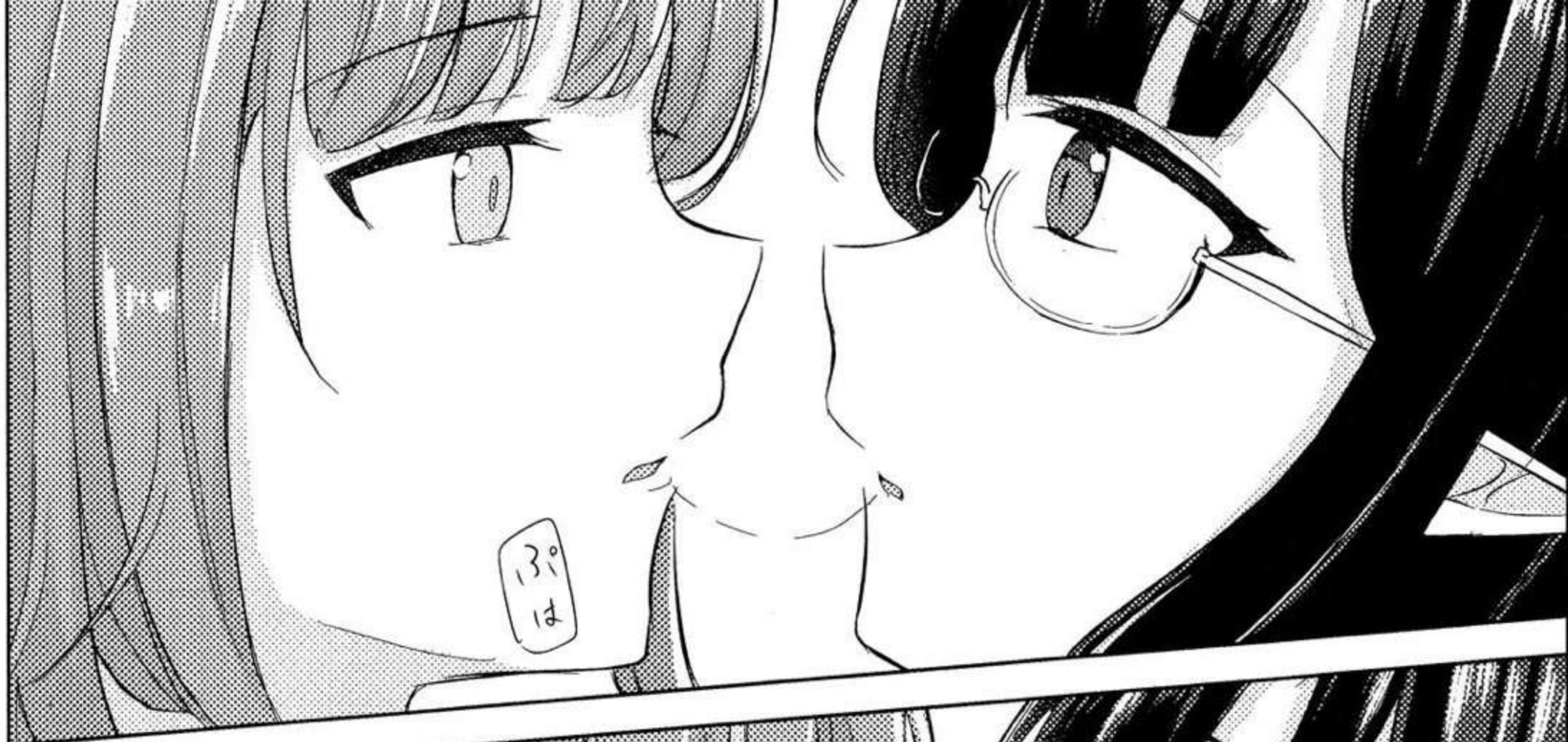
…怖かったわ

あの後本当に
リン先輩の身に
なにかあったら

もし本当に
リン先輩が帰って
来なかったらと思うと

…私は
貴女ほど強くないから

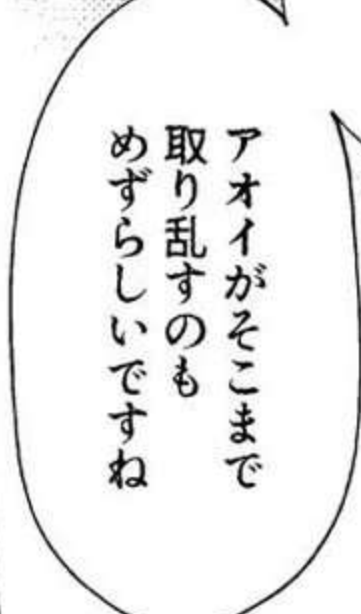




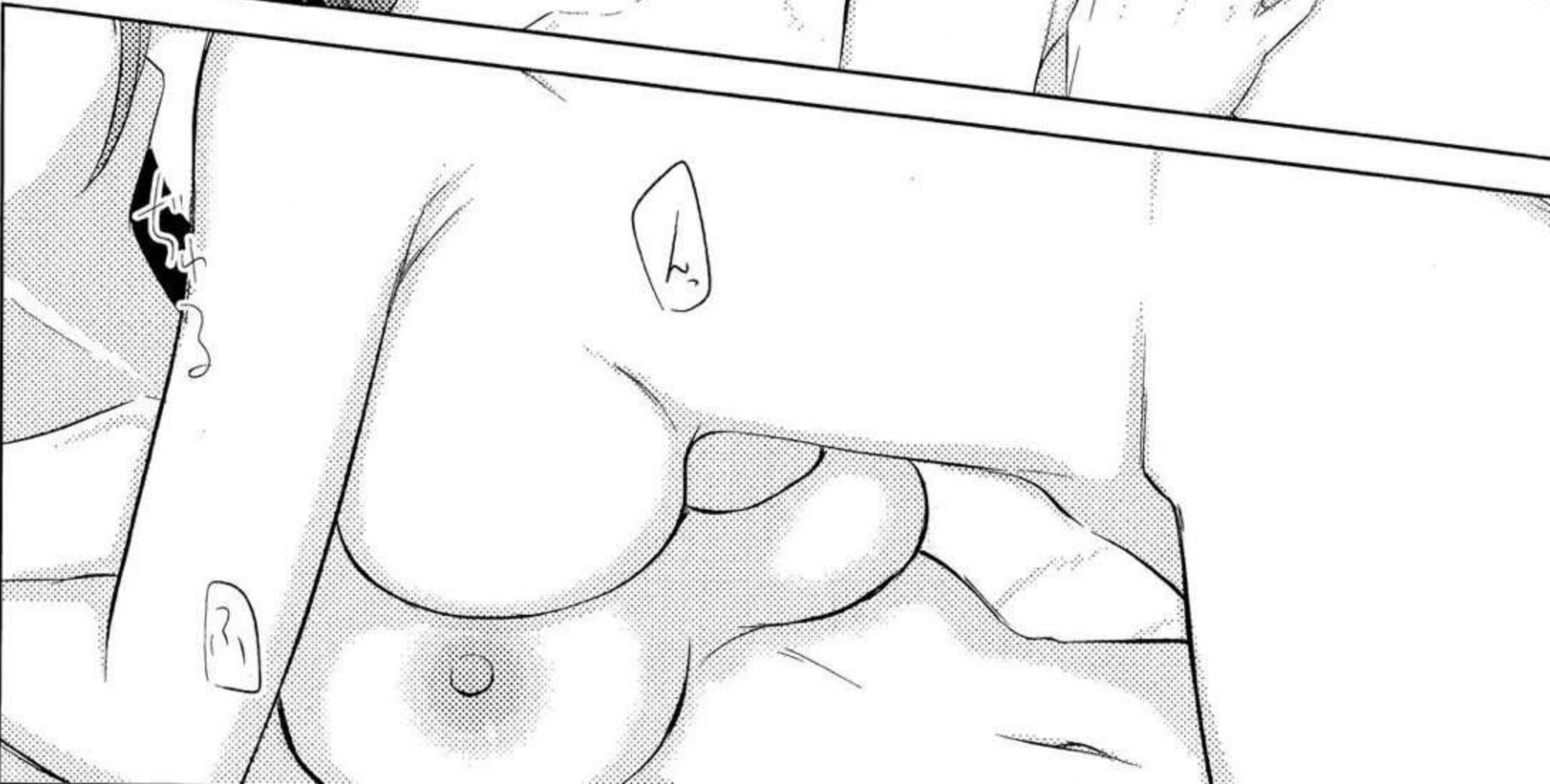
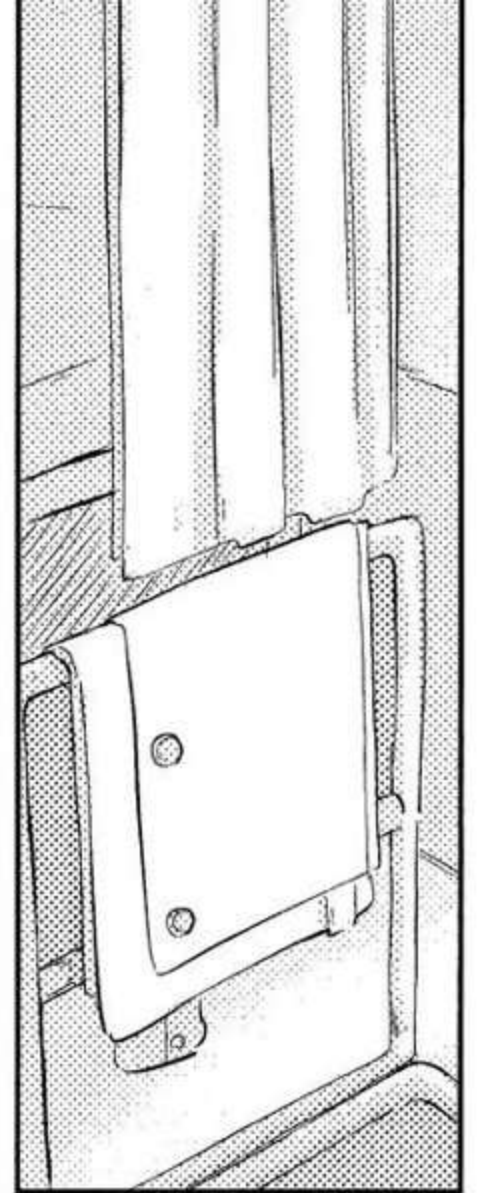


アオイミ

：嫌だったら
とめて頂戴







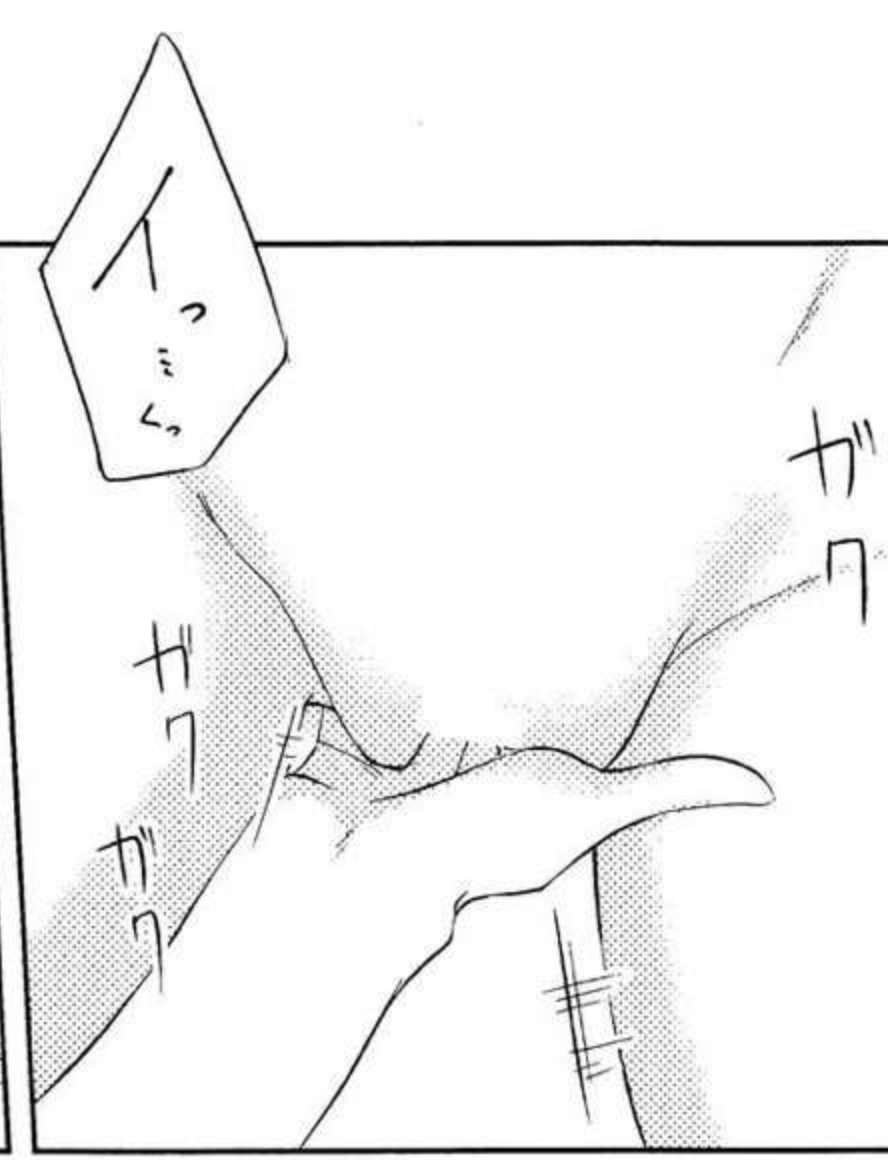


アオイっそんなところ…
だめです…っ



私のも触って
くれるかしら…

こ
こうで
良いでしょうか…？







群青は
空夜に解ける

■あとがき

はじめまして。そうでないかたはいつもありがとうございます。ちびちょすです。

どうして今更になって最終編の話を……？って話なんですけど、実は当時から構想はあったんですよね。ただ当時は漫画なんて描いたことがなくて、描きたいものが描ける気がなくて。塩漬けになっておりました。

で、今回ブルアカで百合オンリーが開催されるということで。せっかくなら一番自信のあるCPで本を出したい、今なら描けるはずと1年越しに筆を執った次第であります。

まあ、描きたいもんはかけたんじゃないですか？二人はまずちゃんと面と向かって話し合え！あと行政局モブちゃんは私の性癖を詰め込んだらこうなりました。うちのキヴォトスのモブちゃんはどうなんです信じてください。

連邦生徒会の子たちも生徒なんだからもっと子供っぽい事をしてほしい。
ので連邦生徒会休暇イベント待ってます。海とか行ってほしい。

……ないなら私が本で描くまでですけどね！それでは、またどこかで。

2025.03.23 深緑茶葉園 ちびちょす

■奥付

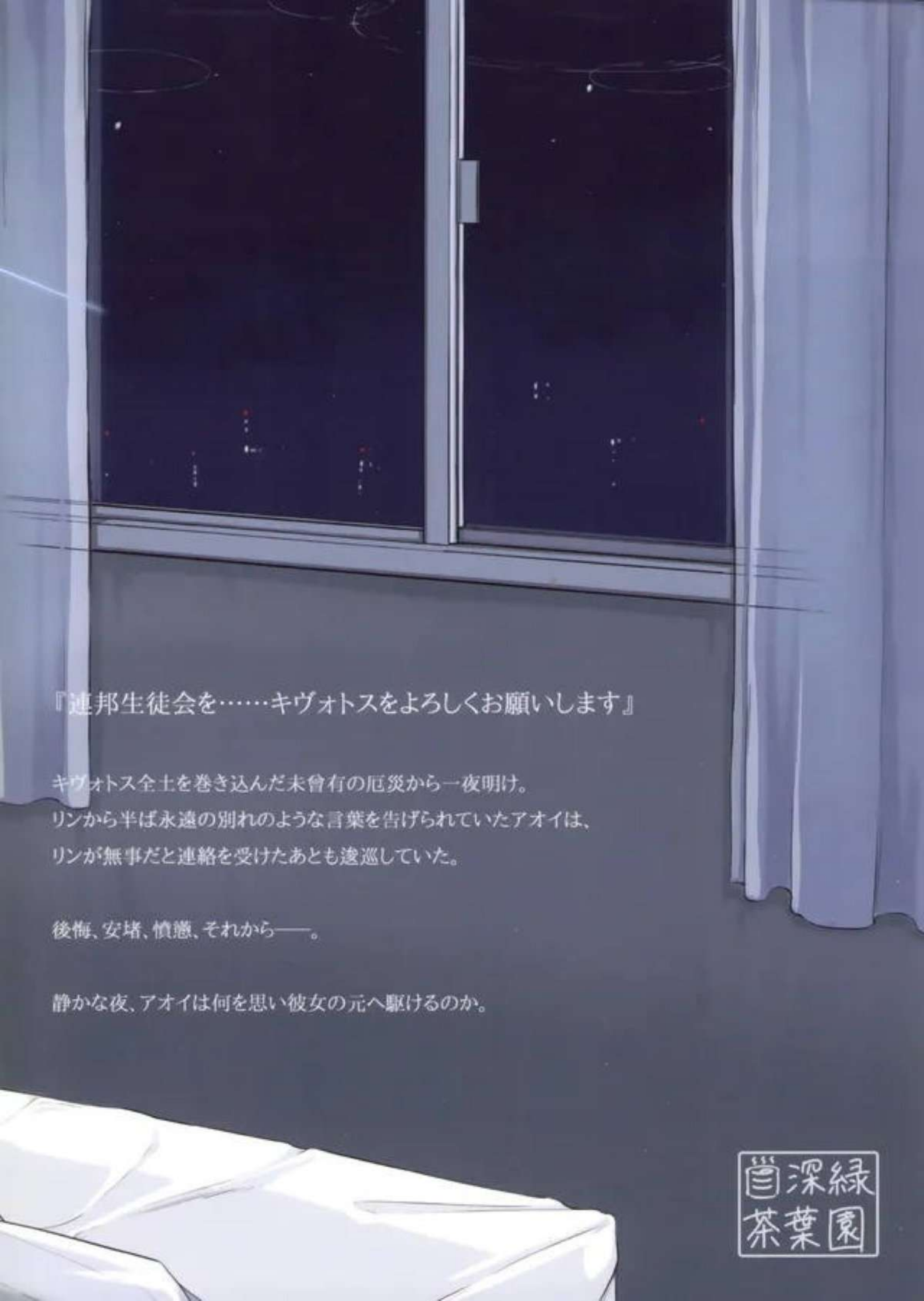
『群青は空夜に解ける』

発行日 : 2025.03.23
サークル : 深緑茶葉園
著者 : ちびちょす
X : @Chibi_FumiT(@Chosu_GL)
Pixiv : 82923823
Bluesky : @chibifumit
Mail : chibifumit@gmail.com
印刷 : 株式会社グラフィック様

lit.link



※本書の無断転載・WEB上へのアップロード、オークション等への出品を固く禁じます。



『連邦生徒会を……キヴォトスをよろしくお願いします』

キヴォトス全土を巻き込んだ未曾有の厄災から一夜明け。
リンから半ば永遠の別れのような言葉を告げられていたアオイは、
リンが無事だと連絡を受けたあとも逡巡していた。

後悔、安堵、憤懣、それから——。

静かな夜、アオイは何を思い彼女の元へ駆けるのか。

R18
FOR
ADULT
ONLY

『連邦生徒会を……キヴオトスをよろしくお願いします』

キヴオトス全土を巻き込んだ未曾有の厄災から一夜明け。
リンから半ば永遠の別れのような言葉を告げられていたアオイは、
リンが無事だと連絡を受けたあとも逡巡していた。

後悔、安堵、憤懣、それから——。

静かな夜、アオイは何を思い彼女の元へ駆けるのか。